

図 2.2.1 K-net 築館における加速度波形

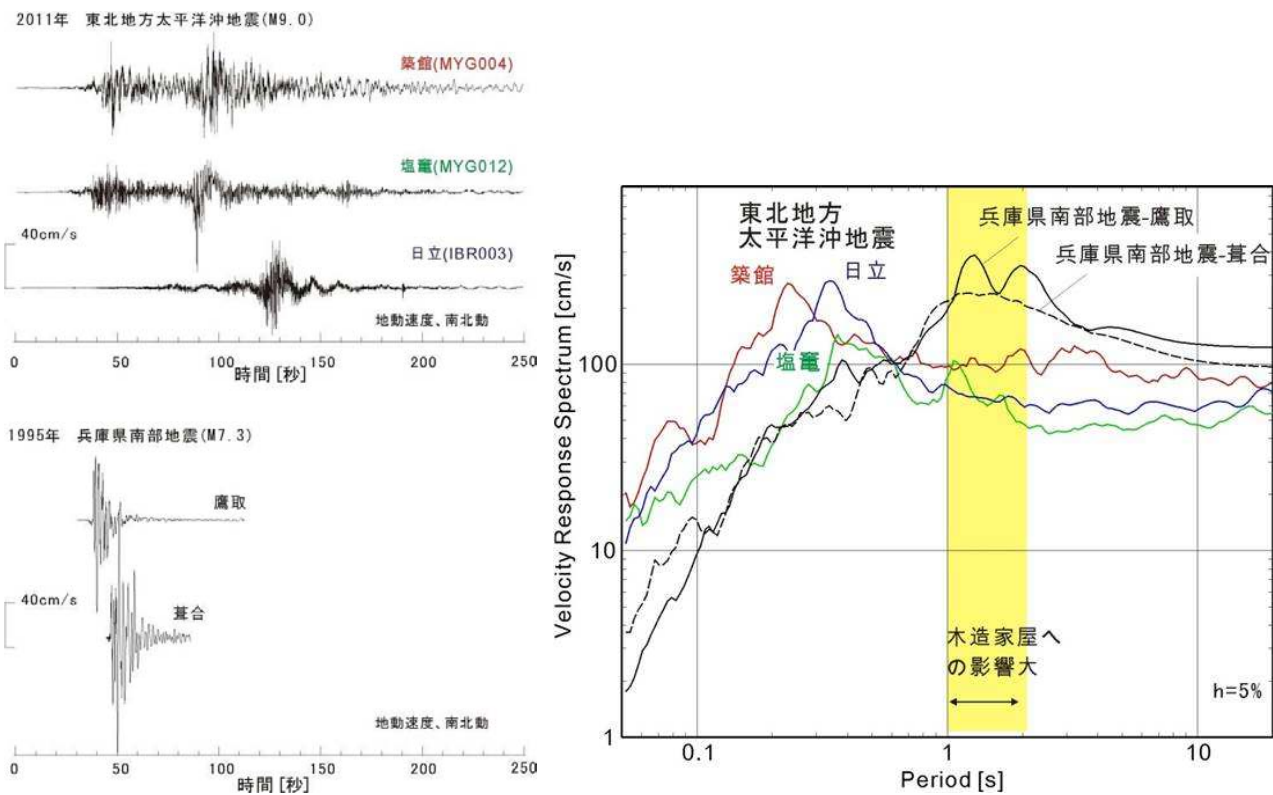
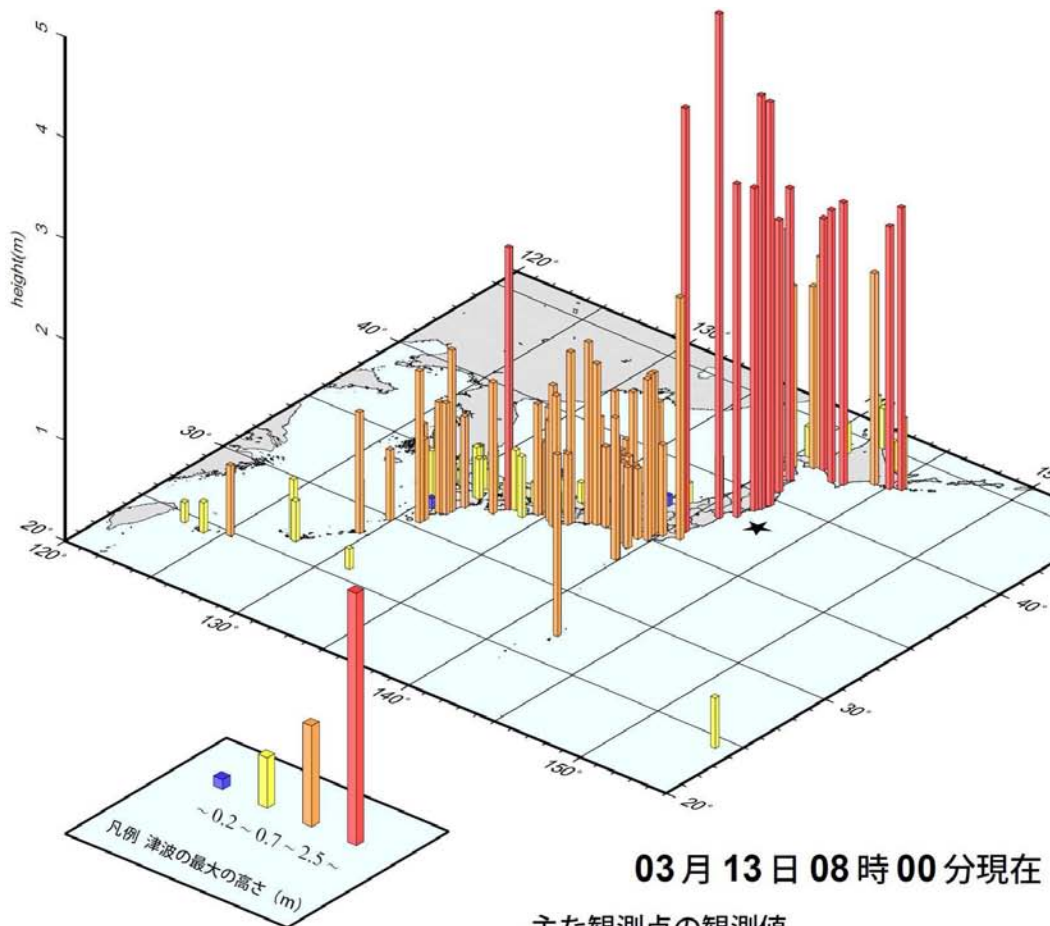


図 2.2.2 兵庫県南部地震の観測記録の応答スペクトルとの比較⁷⁾

2.3 津波の概要

(1) 津波の観測記録概要

図 2.3.1に、気象庁の潮位観測所による津波観測記録を示す。釜石、宮古、石巻、大船渡では地震発生から数分で第一波が到達し、30 分程度で最大波が到達している。



03月13日 08時00分現在

主な観測点の観測値

	第一波		最大波		
	時刻	向き	高さ	時刻	高さ
相馬	11日 14時 55分	押し	0.3m	11日 15時 50分	7.3m以上
大洗	11日 15時 15分	押し	1.8m	11日 16時 52分	4.2m
釜石	11日 14時 45分	引き	0.1m	11日 15時 21分	4.1m以上
宮古	11日 14時 48分	押し	0.2m	11日 15時 21分	4.0m以上
石巻市鮎川	11日 14時 46分	押し	0.1m	11日 15時 20分	3.3m以上
大船渡	11日 14時 46分	引き	0.2m	11日 15時 15分	3.2m以上
むつ市関根浜	11日 15時 20分	引き	0.1m	11日 18時 16分	2.9m
根室市花咲	11日 15時 34分	引き	微弱	11日 15時 57分	2.8m
十勝港	11日 15時 26分	引き	0.2m	11日 15時 57分	2.8m以上
浦河	11日 15時 19分	引き	0.2m	11日 16時 42分	2.7m

気象庁作成

図 2.3.1 津波観測所の観測記録⁸⁾

(2) 津波の浸水高さ、遡上高さ

図 2.3.2に、津波の痕跡から実測した浸水高さと遡上高さの調査結果を示す⁹⁾。これは土木学会海岸工学委員会が中心となり、関連学会・協会及び行政機関が加わり、「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ（調査者 140 名以上）」として活動し、広域的なデータを取得したものである。

津波は太平洋沿岸に達しており、特に三陸海岸では多くの地域で浸水高さが 20m 以上であり、30m を超過する地域もあった。また、遡上高さは 40m を超過する地点もあった。

図 2.3.3～図 2.3.6に、本調査団の調査対象事業体付近における津波の浸水範囲図を示す³⁾。浸水範囲は平野部の方が内陸まで浸水しており、仙台平野では海岸線から 5 km 以上の範囲まで浸水している。

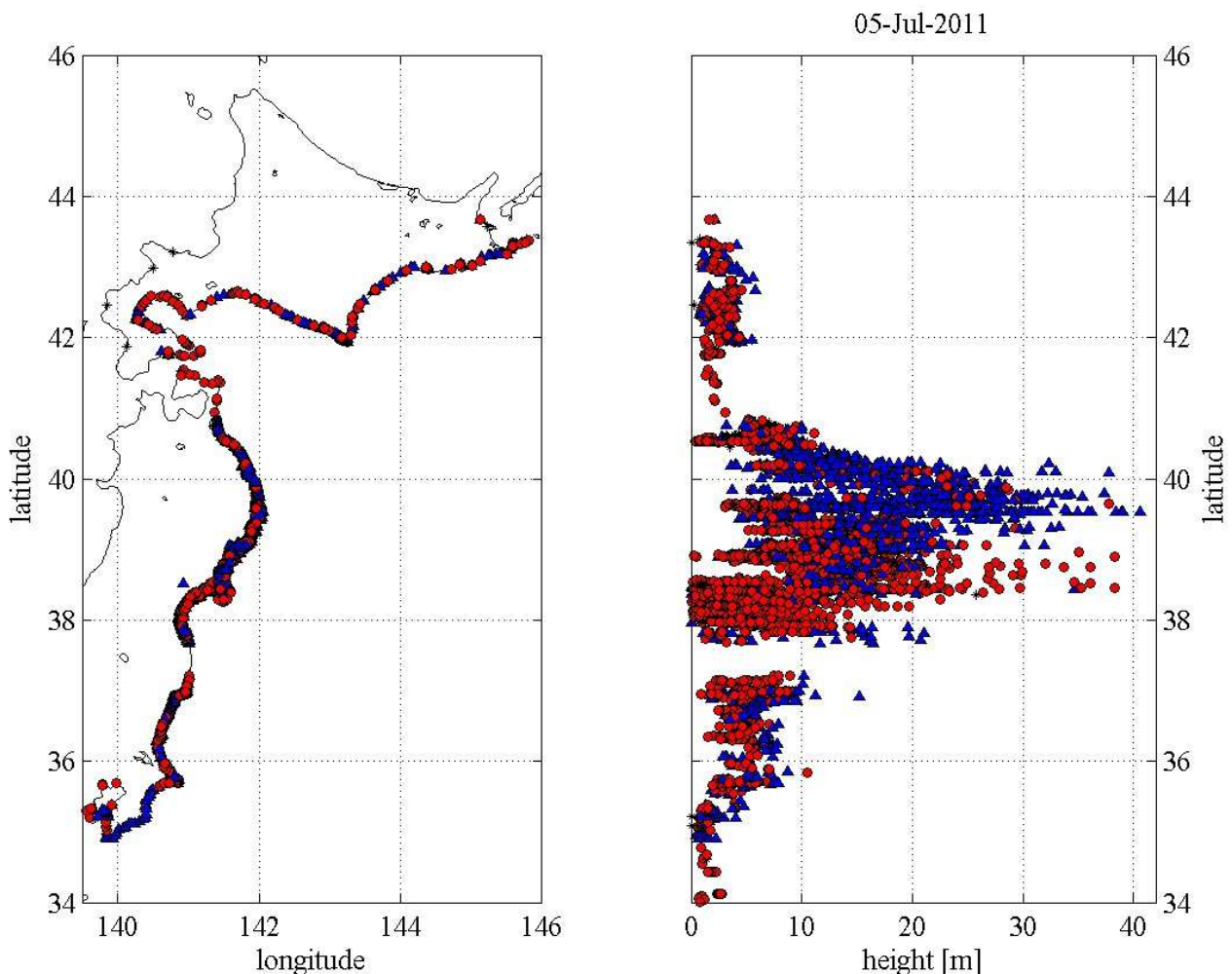


図 2.3.2 津波の浸水高さと遡上高さの実測値（赤：浸水高さ、青：遡上高さ）⁹⁾



図 2.3.3 陸前高田市・気仙沼市周辺の津波浸水範囲³⁾